

## 第2回 「15年後の生活の中に潜む問題点の調査」

## ・プレゼンテーション

◎学生より【A】表紙

【B】生体情報認識に関する調査（1人、4分）

## ・出題【C】 15年後の生活の中に潜む問題点の調査

0. 15年後の未来、日常生活を思い描きなさい。

（15年前の生活の調査をして、その差分を考慮する、等）

1. 15年後の日常生活にある不便な点、解りにくい点、危険な点等、

問題点を列挙し、分類・カテゴリズを行いなさい。

2. その際、問題点を解りやすくし、新しい視点を発見する為の

「まとめかた」に関する独自の表現（分類・カテゴリズの方法）を模索しなさい。

## ▽スキル解説

発想法（発散思考）「ブレインストーミング法」に関して

発想法（収束思考）「KJ法」に関して

アイデア発想の際の頭の切り替えに関して

## ・【課外】実習課題（5人程度のグループワーク）

1. ブレインストーミング法を用いて、15年後の日常生活の中に潜む問題点を抽出しなさい。

2. 問題点を付箋にキーワードとして記入しなさい。

3. これらのキーワード付箋、模造紙をもちい、KJ法を通して問題点の構造・関係を明かにしなさい。

4. 完成したKJマップを参考にし、各自メモをとりなさい。

5. メモを参考に、独自の解釈・表現で、問題点をまとめなさい【C】。

## 第2回 「15年後の生活の中に潜む問題点の解決案」

## ・出題【D】 15年後の生活の中に潜む問題点の解決案

【C】で明かにした15年後の日常生活に潜む問題点の解決を行う際、単なる解決だけでは意味がない。問題が解決されることにより「LifeStyle にどれだけの変化がもたらされるか」といった新しい視点が重要である。個々の問題を解決できる魅力の高い製品（サービス）のアイデアを10以上出し、各アイデア毎に簡易な解説シートを作成しなさい。

解説シートの内容：(A4 横)

- ・アイデアのタイトル
- ・着目した問題点
- ・提案する製品（サービス）のフリーハンスケッチ
- ・LifeStyle がどのように変化するか of 解説図・スケッチ

を含むものとする。裏面に、学籍番号、氏名を記述のこと。

## ・【課外】実習課題

1. 配布された A4 用紙 10 枚の裏面に、学籍番号、氏名を記述
2. 【C】で自ら明かにした日常生活に潜む問題点を 10 個選択する。
3. 選んだ問題点 10 各々に対する解決策を含む製品（サービス） of 解説シートを作成する。
4. 来週 of 早い時期までに、アトリエ壁面に張ること。（他の学生との発想 of 共有）

そのうえで、

5. 【D】 of シートの作成を開始する。

## ・概論

- ・製品デザインにおけるアウトプットの例  
→ プロジェクション

## ▼次回までの課題▼

## 【C】15年後の生活の中に潜む問題点 of 調査

問題点 of 調査結果を、解りやすくまとめることによつて、新しい視点を見出すことが可能。「まとめかた」にこだわりをもつて、表現にオリジナリティを付与しなさい。

## 【D】生活の中に潜む問題点 of 解決案

2つの製品（サービス） of アイデアを魅力的に表現しなさい。

上記に際し、【B】で調査した生体情報認識 of 何を用いる提案かを記述しなさい。

上記に2点に関する報告を、一人5分でおこなってもらいます。

アイデアの  
タイトル

着目した  
問題点

---

提案する製品（サービス）のフリーハンドスケッチ

LifeStyle がどのように変化するかの解説図・スケッチ